

## 第1回 診査診断・初期のリスク把握の重要性

皆さま、こんにちは！ 歯科衛生士の藤本和泉です。昨今、う蝕や歯周病原因細菌が全身にさまざまな悪影響を及ぼすことは、研究データをはじめいろいろなメディアでさかんに発信されています。そこで、私たちがお口のプロとして「予防することで口腔内だけでなく全身の健康維持にも繋がること」を患者さんにお伝えしていきたいですね。

第1回目は、診査診断・初期のリスク把握の重要性についてお話しします。患者さんの口腔内や全身状態は千差万別であり年齢とともに変化していきます。その変化にいち早く気づく“眼”を持ち続けることです。口腔ケアを任されている私たち歯科衛生士は重大な任務を背負っています。まずは口腔内をしっかりと“診る”ことから始めて、“何が原因なのか”“なぜこのような状態になったのか”を常に先生と一緒に考え対応していくことが大切だと思います。



藤本和泉DH  
プロフィール

1991年 福岡医科歯科技術専門学校  
(現 博多メディカル専門学校) 卒業  
1991年 一般開業医院勤務  
1998年 歯科・林 美穂医院勤務  
日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士

**藤本DH**  
なぜ最初の診査や診断が重要なのでしょうか？

お口の中の環境は患者さんによって一人ひとり違うの

虫歯 歯周病 不正咬合

まずはその「違い」に気づく**着眼力**を持つことが歯科衛生士には必要よ

**気づく「目」を持つ**ということですね

そうよどの患者さんにも同じ口腔衛生指導を行うのではなく

一人ひとりの口腔内の状態※にあわせた指導法を先生とともに考えることが大切よ

※性格、生活習慣なども含む

あ！わたし皆さんに同じ指導ばかりしていました…

診査診断やリスク分析はどのようにすればいいのでしょうか？

X線読影、歯周ポケット検査など従来の診査診断に加え

- 唾液検査・測定 (リスク分析・緩衝能・活動試験)
- 口臭値測定
- う蝕検知 など様々なリスク分析の検査方法があるのよ

Salivary Multi Test Kunkundental 光学式う蝕検査装置 ダイアグノデントペン

さらに測定結果は**患者さんにもお伝え**することも大切よ

患者さんに自分自身のお口の現状を認識していただくことで

治療やホームケア、そしてメンテナンスの大切さを理解してもらえれば、こんな素晴らしいことはないわよね！

私もそう思います!!

まさに「患者ファースト」の予防歯科ですね！

こうした検査分析を行うことで患者さんの罹患リスクをより詳細に把握することができるの

患者さんのリスクを把握することで

初めて歯科医師とともに適正な治療計画を立てることができるということですね

その通り!

販売名：ダイアグノデントペン 2190 一般的名称：光学式う蝕検査装置 医療機器認証番号：221008ZK01002000  
医療機器の分類：クラスII 管理医療機器 製造販売：カボ デンタル システムズ株式会社 大阪府/八尾市神武町 2-24

藤本DHが勤務する「歯科・林 美穂医院」では



### <<<患者さんに

カウンセリングルームで患者さんに模型を使ったセルフケアアイテムや、デンタル・PPDの測定結果に関する説明を行っています。



### <<<スタッフと

空き時間を使って、最新の歯科関連情報の更新や知識のアップデートなどのスタッフトレーニングを行っています。